

平成29年度 国語表現 シラバス

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
国語	国語表現	3	2	『国語表現』（大修館書店） 『高校生必修語彙ノート』（桐原書店）

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 ・国語表現の学習内容から「書くこと（表現）」を重視し、「書くこと」の為に「話すこと・聞くこと・読むこと」の重要性を学び、情報を得る力を養う。 ・表現に活かす知識の量を増やすことで伝えたいことを適切に表現する力を育成する。
到達目標に向けての具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの作成・課題レポート作成を行い、個別の作文添削指導を行う。 ・図書館や情報室を利用して言葉による表現力や社会全般に対する問題意識をもたせるよう指導する。 ・理解力や表現力を高めるため、読書に親しみ、文章を書く機会を多く持つ。 ・必要に応じて、新聞資料・インターネット資料・国語辞典・漢和辞典などを活用する。

月	予定時数	単元	教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
四月	一学期期末試験まで	書いて伝える	整った文を書く	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	①「書くこと」の基本を理解しているか。（定期試験により評価） ②語彙力は定着しているか（マメテスト実施） ③積極的に授業に参加しているか。 ④課題等の提出は十分か。 ⑤作品の提出がされているか。
			わかりやすい文を書く	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。		
			文のつながり	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。		
五月	二〇	小論文・レポート入門	小論文とは何か	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	
			反論を想定して書く	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。		
			資料を読み取って書く	・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。		
六月	時間	自己PRと面接	発想を広げて書く	・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	
			自分を見つめて	・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。		
			効果的な自己PR	・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。		
七月	二学期期末試験まで	自己PRと面接	将来の自分を考えよう	・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	
			志望動機をまとめよう	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。		
			面接にチャレンジ	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方を示す。		
八月・九月	三〇	会話・議論・発表	相手や場面に応じた会話	・場面に応じた適切な言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	
			議論して結論を出す	・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力し合いながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。		
			プレゼンテーションの工夫	・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。		
十月	時間	第二部 敬語	整った文を書く	・敬語についての基本的な知識を身に付ける。 ・誤りやすい敬語について理解し、活用できるようにする。	期末試験における点数、提出物・日々の授業における態度によって評価する。	
			ネット社会とコミュニケーション	・ネットを用いたコミュニケーションの長所と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。		
			メディアを駆使する	・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。		
十一月	二〇	小論文・レポート入門	表現への扉2小論文を書くために	・小論文を考えるきっかけを与えてくれる文書や資料を集める。 ・文章を読んで要旨をまとめ、自分の意見をまとめる。	1. 2. 3学期の点数及び、提出物の内容、授業態度によって評価する。	
			レポートを書く	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。		
			論文を書くために	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。		
十二月	時間	第二部 表現を楽しむ	詩歌を楽しむ	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	1. 2. 3学期の点数及び、提出物の内容、授業態度によって評価する。	
			言葉で遊ぶ	・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。		
			エッセイを書こう	・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考に、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。		